

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No.	①事業名	②事業概要	③対象	④事業実績（経費内訳）	⑤事業始期	⑦事業費（円）	⑨成果目標	⑩効果・検証
					⑥事業終期	⑧うち交付金（円）		
1	暮らし応援商品券交付事業（第3弾）	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため活動の自粛、観光客の減少や原油価格・物価高騰の影響により商工業者は多大な影響を受け経営状況が悪化した。村内の消費喚起を図るため、村内限定の商品券を村民に発行し、村内の事業所、店舗等で使用することで、地元消費の拡大、地域経済の活性化を図る。	村民、事務委託業者、印刷事業者	661人に10,000円分の商品券を発行 発行総額：6,610千円（661人×10,000円（額面500円×20枚））、事務委託584千円 利用期間：6か月	R4.5.1	7,092,071	商品券使用率100%にする	661人に10,000円分の商品券を発行 発行総額：6,610千円（661人×10,000円（額面500円×20枚）） 商品券使用額6,508,000円、事務委託584,071円
					R4.11.30	7,091,000		
2	村ホームページ機能強化事業	新型コロナウイルスの情報発信の手段としてホームページが重要となっているが、現在のホームページはスマートフォン対応となっていない。閲覧者の多くはスマートフォンにて閲覧しているため、スマートフォンにも対応できるホームページに更新するとともに利用者の利便性向上を図ることを目的とする。	HP閲覧者	HP改修委託業務 委託料2,500千円	R4.5.1	1,947,000	更新後のアクセス数を1.5倍に伸ばす	HP改修委託業務1,947,000円
					R5.3.31	1,947,000		
3	避難所の連絡体制構築事業	コロナ禍の中で、三密回避するために新たに設ける避難所と役場との避難時連絡体制を構築するために衛星方式の通信機材を整備する。	避難所	衛星携帯無線機器購入及び関連機材整備 衛星携帯無線導入費 2,902千円	R4.6.1	2,901,800	全地区で問題なく通信が行えるよう整備する	衛星携帯無線機器購入及び関連機材整備 衛星携帯無線導入費2,901,800円
					R4.9.1	2,901,800		
4	避難所物資輸送支援事業	災害時に設置される村内各避難所へ感染防止対策品（仕切り等）を輸送するために軽トラックを購入する。効果：本庁でストックしている感染防止対策品を避難所設置時に迅速に輸送することで避難所における感染予防の確実な実施	避難施設	車両購入費（4WD AT）1台×1,206千円 付属品（冬タイヤ等）購入費1セット×94千円 登録に関する諸経費1台分×100千円	R4.10.8	1,133,392	既に稼働している軽トラック2台に加え軽トラックを1台導入し、各避難所に同時に物資を輸送できる環境を整える。	車両購入費 付属品購入費 登録に関する諸経費 軽トラック車輛代（1,106,482円）、自賠責保険及び重量税（26,910円）
					R4.12.20	1,106,482		

5	役場庁舎内の定期的換気実施誘導事業	村民が多く利用し避難施設としても利用する小菅村役場において定期的な換気を促すために、庁内放送にて定期的にチャイムがなる装置を設置する。効果：庁舎内にて定めた時間にて換気を誘導するチャイムを鳴らし定期的な換気をおこなうことで感染予防を徹底させる。	避難施設	プログラムタイマー付き時計ユニット（チャイム再生装置）購入費および取付工事費	R4.5.9	411,400	開庁時間中、1時間ごとに換気を庁内に通知し、確実な換気を行う。空気の流れ換えにより庁内設置の空気清浄機の空気汚れセンサーの稼働回数を0にする。	プログラムタイマー付き時計ユニット（チャイム再生装置）購入費および取付工事費 タイマー・チャイム設置工事費411,400円
				プログラムタイマー付き時計ユニット（チャイム再生装置）購入費220千円 設置工事費200千円	R4.12.15	411,400		
6	診療所感染対策環境整備事業	発熱等により感染の疑いがある患者に院内の他の受診者との接触を避けるため簡易検査所を設置し分離することで感染リスクを減らす。	小菅村診療所 駐車場	簡易検査所（プレハブ）設置 一棟 1,370,000円	R4.7.20	1,370,000	診療所内における感染者数0名	診療所の感染対策として発熱外来用簡易検査所を整備 簡易検査所一棟 1,370,000円
					R4.9.30	1,370,000		
7	保育所感染症対策事業	未就学児が集団活動を行う保育所において、施設内の消毒や三密の回避等、適切な感染症対策を実施するための物品等を整備する。	小菅村保育所	おひるねベッド10,500円×15個＝ 157,500円 専用キルトパッド2,900円×15枚＝ 43,500円 全自動洗濯機38,070円 自動消毒液噴射器6,092円×3台＝ 18,276円 除菌液(5L)4,208円×30缶＝126,240円	R4.4.1	383,586	保育所内における感染者数0名	保育所内での感染症予防対策物品として以下を整備 おひるねベッド 10,500円×15個＝157,500円 専用キルトパッド 2,900円×15枚＝43,500円 全自動洗濯機 38,070円 自動消毒液噴射器 6,092円×3台＝18,276円 除菌液(5L) 4,208円×30缶＝126,240円
					R4.10.18	383,586		
8	行政事務・サービスのデジタル化及びオンライン発信強化業務	ウィズコロナ時代に対応するため、これまでの紙文書を中心とした情報発信を見直し、オンラインによる情報発信に切り替えていくことを目標とする。また高齢者等がデジタル化に取り残されないよう、高齢者向け端末の活用や村民ボランティアによるデジタルサポーターを育成し、人に優しいデジタル化も同時に実現させるものとする。また公共施設や村営バスの利用状況をオンラインで確認できるよう整備することで、密を避け安心して利用できる環境整備を実施する。	各種事業者	行政事務・サービスのデジタル化及び情報発信のオンライン化業務コンサル料 6,000,000円 高齢者向け端末保守56,760円（年額）× 40台＝2,270,400円 村民向けアプリ運営費3,300円（年額） ×500ライセンス＝1,650,000円 高齢者向け端末ほか通信料144,250円× 12月＝1,731,000円 行政サービス提供用各種備品購入費 213,000円 タブレット100,000円×2 ウェブカメラ 6,500円×2 公共施設Wifi整備費用351,000円	R4.4.1	11,809,720	・高齢者のデジタルスマホ・タブレット等の週1回以上の利用率90%以上 ・村民デジタルサポーター数40名 ・デジタル化による公共サービス・施設の利用向上 ・トレーニングルーム年間利用者増加 ・村営デマンドバス年間利用者増加 ・村民アプリ利用者数200名	ウィズコロナ時代に対応するため、オンラインによる情報発信、また高齢者向け端末の活用、村民ボランティアによるデジタルサポーター育成、公共施設や村営バス利用状況確認等のデジタル化によりを密を避け安心して利用できる環境整備 タブレット等付属品 11,290円 行政事務・サービスのデジタル化及び情報発信のオンライン化業務コンサル料 6,000,000円 高齢者向け端末保守 2,270,400円（年額） 村民向けアプリ運営費 3,300円（年額）×500ライセンス1,650,000円 公共施設Wifi整備費用 350,240円 高齢者向け端末ほか通信料（12ヶ月分） 1,329,100円 行政サービス提供用各種備品 タブレット等 185,600円 ウェブカメラ2台 13,000円
					R5.3.31	11,809,720		

9	こころの支援事業	感染拡大や外出自粛等により精神的に不安を感じている人を対象に臨床心理士等による訪問やオンラインを活用した支援事業を実施する。	小菅村社会福祉協議会	事業対象者の抽出や臨床心理士の派遣等を一括で小菅村社会福祉協議会へ委託する。 委託料 専門職への委託料40,000円×15回=600千円	R4.6.1	600,000	臨床心理士等によるカウンセリング事業の実施件数 年15回 利用者数 年延べ40人以上	事業対象者の抽出や専門職の派遣、コーディネート等を一括で小菅村社会福祉協議会へ委託（個別面談46回、カンファレンス等8回） 専門職への委託料 600,000円
					R5.3.31	600,000		
10	多摩源流きぼうの館健康器具整備事業	感染症の影響により村民の憩いの場であった高齢者福祉施設の利用者が減少している。本事業では同じくコロナ禍の影響を受け運動不足を感じている村民に対し、健康器具を整備し利用を呼びかけることで、高齢者施設がコロナ化以前のように多くの村民が利用し、憩いの場となることを目標とする。	小菅村高齢者生活福祉センター「多摩源流きぼうの館」	パワーウェーブミニ15,400円×4台=61,600円、マッサージシート専用チェア7,700円×4脚=30,800円、マッサージシートタタキのみ30,000円×4台=120,000円、リカンベントバイク50,000円×2台=100,000円、レッグリフレ35,000円×2台=70,000円、フットマッサージャー16,500円×4台=66,000円、ランニングマシン52,000円×3台=156,000円、暖暖ふっと630,000円×1台=630,000円、レッグエクステンション150,000円×2台=300,000円、チェスト150,000円×2台=300,000円、P型上肢運動台95,000円×1台=95,000円、バランスウォーク19,000円×1台=19,000円、リハビリサポートマシン1,050,000円×1式=1,050,000円、電子血圧計200,000円×2台=400,000円 合計3,398,400円	R4.10.11	3,398,400	要介護認定者以外の村民の施設利用人数 令和4年度400人 (参考R3実績0人)	パワーウェーブミニ15,400円×4台=61,600円 マッサージシート専用チェア7,700円×4脚=30,800円 マッサージシートタタキのみ30,000円×4台=120,000円 リカンベントバイク50,000円×2台=100,000円 レッグリフレ35,000円×2台=70,000円 フットマッサージャー16,500円×4台=66,000円 ランニングマシン52,000円×3台=156,000円 暖暖ふっと630,000円×1台=630,000円 レッグエクステンション150,000円×2台=300,000円 チェスト150,000円×2台=300,000円 P型上肢運動台95,000円×1台=95,000円 バランスウォーク19,000円×1台=19,000円 リハビリサポートマシン1,050,000円×1式=1,050,000円 電子血圧計200,000円×2台=400,000円
					R4.12.23	3,398,400		
11	地域の魅力の磨き上げ事業（寺子屋自然塾）	本施設は団体客を中心に受け入れてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い令和2年度・令和3年度とも感染拡大以前と比べ売り上げが7割程度減少した。コロナ禍において密を避ける傾向から、登山やキャンプなど山間地への観光の需要が高まっている状況をとらえ、また、コロナ収束後を見据え、既存の設備等では感染対策が十分とはいえない体験型宿泊施設の寺子屋自然塾を改修し観光客の増加を図る	観光客	木工事（クロークドア補修等）624千円、塀工事（浴室目隠し屏補修等）538千円、網戸及びアルミ調整330千円、水道備工事1,282、電気工事150千円、カーテン工事276千円、塗装工事134千円、左官工事25千円、廃材処理及び諸経費77千円、消費税344千円 計3,780千円 ガスレンジ・スープレンジ・冷凍冷蔵庫の更新、コンパクトミキサー購入 計1,126千円	R4.4.1	4,906,440	新型コロナウイルス感染拡大前の売上額2,056千円を目指す。	施設改修 木工事（クロークドア補修等）623,800円、塀工事（浴室目隠し屏補修等）538,400円、網戸及びアルミ調整330,300円、水道備工事1,281,600円、電気工事150,000円、カーテン工事275,900円、塗装工事134,400円、左官工事25,000円、廃材処理及び諸経費77,000円、消費税343,640円 計3,780,040円 ガスレンジ・スープレンジ・冷凍冷蔵庫の更新、コンパクトミキサー購入 計1,126,400千円
					R4.8.18	4,906,440		

12	遊歩道整備事業	本遊歩道はNo11の寺子屋自然塾やキャンプ場を中心とした観光客用の遊歩道であるが、新型コロナウイルス感染症拡大により観光客が減少してしまった。コロナ収束を見据え、各施設をつなぐ遊歩道を寺子屋自然塾と一体的に整備することで、各施設を回遊する観光客の増加を図る。	観光客	平山遊歩道整備 木橋 1 橋外改修整備工 1,192千円	R4.6.1	2,913,900	木橋の整備のより周辺の宿泊施設の価値を向上させ、利用者数前年度比1.5倍を目指す。	平山遊歩道整備 木橋1橋外改修整備工1,192,400円 倉骨遊歩道整備 木橋2橋改修整備工1,721,500円（1号橋898,700円、2号橋822,800円）
				倉骨遊歩道整備 木橋 2 橋改修整備工 1,721千円（1号橋898千円、2号橋823千円）	R4.9.29	2,913,900		
13	地域公共交通の維持・確保支援事業(R4 予算原油価格・物価高騰対策分)	「生活交通路線維持バス負担事業」において新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰の影響による事業者を支援する目的でバス事業者に一律に支援金を支給する。	西東京バス、富士急バス	西東京バス、富士急バス各々3,250千円（概算）	R4.4.1	3,304,000	燃料・物価高騰による経常経費の一部を支援し、前年度平均乗車密度（西東京バス3.7% 富士急バス0.8%）の維持を目指す。	西東京バス、富士急バス各々1,652千円(交付申請、請求書13.17合算)
					R5.3.23	3,304,000		
14	観光施設等の3密対策支援事業	ウィズコロナにおける観光施設の運営支援の一環と感染症対策の両面から、滞在スペースの分散化による3密対策を図るため、屋外に滞在できるスペースを確保する。	観光施設・公共施設	木造による屋根付きパーテーション整備・木製ベンチ製作 屋根付きパーテーション（一式）4,500千円	R4.9.1	4,757,500	滞在スペース年間利用者数 5,040人	観光施設等の滞在スペースの分散化による3密対策を図るため、屋外に滞在スペースの確保を目的に、木造による屋根付きパーテーション整備と木製ベンチ製作に要す経費を充当 ・屋根付きパーテーション（2箇所）設置業務委託 3,674,000円 ・木製ベンチ（29台）、テーブル（2台）制作業務委託 1,083,500円
				木製ベンチ30,000円×10個=300千円	R4.2.28	4,757,500		
15	暮らし応援商品券交付事業（第4弾）	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため活動の自粛、観光客の減少や原油価格・物価高騰の影響により商工業者は多大な影響を受け経営状況が悪化した。村内の消費喚起を図るため、村内限定の商品券を村民に発行し、村内の事業所、店舗等で使用することで、地元消費の拡大、地域経済の活性化を図る。	村民、事務委託業者、印刷事業者	665人に10,000円分の商品券を発行 発行総額：6,650千円（665人×10,000円（額面500円×20枚））、事務委託750千円 利用期間：4か月	R4.11.1	7,161,217	商品券使用率100%にする	665人に10,000円分の商品券を発行 発行総額：6,650千円（665人×10,000円（額面500円×20枚）） 商品券使用額6,495,500円、事務委託665,717円
					R5.3.31	7,161,217		

16	暮らし応援商品券交付事業 (第5弾)	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため活動の自粛、観光客の減少や原油価格・物価高騰の影響により商工業者は多大な影響を受け経営状況が悪化した。村内の消費喚起を図るため、村内限定の商品券を村民に発行し、村内の事業所、店舗等で使用することで、地元消費の拡大、地域経済の活性化を図る。	村民、事務委託業者、印刷事業者	665人に10,000円分の商品券を発行 発行総額：6,650千円（665人×10,000円（額面500円×20枚））、事務委託750千円 利用期間：5か月	R5.3.1	6,866,476	商品券使用率100%にする	660人に10,000円分の商品券を発行 発行総額：6,600千円（660人×10,000円（額面500円×20枚）） 商品券使用額6,210,500円、事務委託655,976円
					R5.7.6	1,122,783		
17	地域公共交通の維持・確保支援事業(R3予算分)	「生活交通路線維持バス負担事業」において新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰の影響による事業者を支援する目的でバス事業者に一律に支援金を支給する。	西東京バス、富士急バス	西東京バス、富士急バス各々3,250千円	R4.4.1	956,000	燃料・物価高騰による経常経費の一部を支援し、前年度平均乗車密度（西東京バス3.7%富士急バス0.8%）の維持を目指す。	西東京バス、富士急バス各々478千円
					R5.3.23	956,000		